

2023年 5月 8日
京成電鉄株式会社

不要となった新型コロナウイルス感染症対策用の パーティションの再利用に取り組みます

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)は、不要となった新型コロナウイルス感染症対策用のパーティションの再利用に取り組みます。

これは、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付け変更(2023年5月8日)後の基本的感染対策の考え方に基づき、当社内で新型コロナウイルス感染症対策用として使用していたパーティションのうち、不要となったものについて、再利用に取り組むものです。

その第1弾として、駅で活用していたパーティションに、駅係員が自らペイントを施した PR ボードを作成し、空港第2ビル駅に展示いたしました。

このPRボードでは、本年4月1日から開始した再生可能エネルギー由来の環境価値を活用し、スカイライナーの運行にかかるCO2 排出量実質ゼロを紹介したデザインとなっております。(再生可能エネルギー100%でCO2 排出量実質ゼロのスカイライナーを運行します URL はこちら)

<https://www.keisei.co.jp/cms/files/keisei/MASTER/0110/9fCDVmJW.pdf>

今回の取り組みは、京成グループの中期経営計画「D1プラン」における重点施策「エコロジカルなまちづくりの推進」において掲げた「ごみの削減・リサイクルの推進」の一環であり、SDGs (目標 12: つくる責任つかう責任)達成にも貢献するものです。

京成電鉄では今後も、様々なリサイクル、リユース方法を検討し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



空港第2ビル駅で展示している駅係員が作成した PR ボード

以上